

相模原マンドリン倶楽部

第 29 回定期演奏会



第 28 回定期演奏会 撮影 テスムジカ

2013 年 10 月 26 日（土）14:00 開演

相模女子大学グリーンホール 大ホール

後援：相模原市・相模原市教育委員会

♪ ご挨拶 ♪

本日は、相模原マンドリン倶楽部第29回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。
ございます。

相模原マンドリン倶楽部は1977年(昭和52年)の創部以来今年で36年となりますが、
部員も60人を超え、オーケストラ編成での合奏を楽しんでおります。

今回第2部で演奏します「交響的前奏曲」は過去の定期演奏会で2回ほど演奏して
おりますが、新たな「さがみはら・サウンド」とマンドリンオーケストラでの醍醐味をお
楽しみください。

今後もマンドリン音楽に深いご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

部長 小澤健二郎

♪ 演奏曲目 ♪

第I部

指揮：宮本 皓永

- | | | |
|------------------|--------------|----------|
| 1. 歌劇「椿姫」幻想曲より抜粋 | 作曲：G. ヴェルディ | 編曲：中野 二郎 |
| 2. インドの王女 | 作曲：K. L. キング | 編曲：宮本 皓永 |
| 3. シネマオールディーズ | | 編曲：宮本 皓永 |
| ・ エンターテイナー | 作曲：S. ジョプリン | |
| ・ ひまわり | 作曲：H. マンシーニ | |
| ・ 第三の男 | 作曲：A. カラス | |
| ・ ムーン・リバー | 作曲：H. マンシーニ | |
| 4. ギリシャ狂詩曲 | 作曲：N. ラウダス | |

-----休憩 15分-----

第II部

客演指揮：新井 義輝

- | | | |
|-------------------|----------------|----------|
| 1. 歌劇「セビリアの理髪師」序曲 | 作曲：G. A. ロッシーニ | 編曲：新井 義輝 |
| 2. 交響的前奏曲 | 作曲：U. ボッタッキアーリ | |
| 3. 第三小組曲 | 作曲：G. D. ミケーリ | 編曲：中野 二郎 |
| Ⅰ 黄昏 | | |
| Ⅱ 月光セレナータ | | |
| Ⅲ 夜明け | | |
| Ⅳ 太陽讃歌 | | |

♪曲目紹介♪

歌劇「椿姫」幻想曲 (La Traviata fantasia)

作曲：ジュゼッペ・ヴェルディ (Giuseppe Verdi:1813~1901)

ヴェルディは、19世紀を代表するイタリアのロマン派音楽の作曲家です。主にオペラを制作し、代表作に「ナブッコ」「リゴレット」「椿姫」「アイダ」等があり、これらの作品は、世界中のオペラハウスで演じられています。「椿姫」幻想曲は、マルチェルリ編曲に中野二郎氏が手を加え美しいメロディで構成されています。本日はその中から抜粋し、開幕に先立つ悲劇的主題の前奏から始まり、続いて華やかな晩餐の場面の「乾杯の唄」を演奏します。

インドの王女 (Princess of India)

作曲：カール・ロウレンス・キング (Karl Lawrence King:1891~1971)

キングは、アメリカ オハイオ州で生まれ、ブラスバンドの指揮者・作曲家で、行進曲を中心に約300曲を残しています。この曲は、吹奏楽の為に作られた曲ですが、管楽器をマンドリンに置き換え、新たな雰囲気・様子の演奏になる事への興味にて、マンドリン合奏曲用に編曲されました。インドの王宮は朝を迎え、王女のお出ましの情景から舞踏会まで、また窓際に寄りかかり他国の王子に想いを馳せる様子など、王女と宮殿の一日を描いています。

シネマオールディーズ

エンターテイナー (The Entertainer) 作曲：スコット・ジョプリン (Scott Joplin:1868~1917)

シカゴを舞台に、修行中の詐欺師と天才賭博師が、親分の仇討ちの為にシカゴの大物ボスに挑む傑作エンタテイメント映画「スティング」のテーマ曲に使用され有名になりました。

ひまわり (I Girasoli) 作曲：ヘンリー・マンシーニ (Henry Mancini:1924~1994)

戦争によって引き裂かれた夫婦の行く末を悲哀たつぷりに描き、劇中幾度か登場する地平線にまで及ぶひまわり畑の美しさと、もの悲しさが圧巻の映画「ひまわり」の主題歌です。

第三の男 (The Third Man) 作曲：アントン・カラス (Anton Karas:1906~1986)

光と影を効果的に用いた映像美、戦争の影を背負った人々の姿を巧みに描いた映画「第三の男」のテーマ曲で、登場人物の名前から「ハリー・ライムのテーマ」とも言われています。

ムーン・リバー (Moon River) 作曲：ヘンリー・マンシーニ (Henry Mancini:1924~1994)

映画「ティファニーで朝食を」の主題歌で、主演女優のオードリー・ヘプバーンが歌いアカデミー歌曲賞を受賞しています。ヘンリー・マンシーニはこの映画音楽全てを手がけています。

ギリシャ狂詩曲 (Rapsodia Ellenica)

作曲：ニコラ・ラウダス (Nicola Lavdas:1879~1940)

ラウダスは、ギリシャ生まれ。叔父の影響を受けマンドリンに興味を抱き、アテネ大学で物理学を専攻後、アテネ芸術大学で音楽を学んでいます。彼の作品には「クレタ風舞曲」、「エカーヴの嘆き」等のマンドリン曲、校歌や児童ミュージカル作品等があります。本曲は、イル・プレットロ誌主催の作曲コンクールで、ファルボの「序曲ニ短調」、カペルレッティの「劇的序曲」と共に入賞した曲です。ニ短調の荘重な全楽器のユニゾンで始まり、主旋律が繰り返され、マンドリンのカデンツァの後、踊りが始まり、喧騒な舞踊へと展開します。

歌劇「セビリアの理髪師」序曲 (Il Barbiere di Siviglia)

作曲：ジョアキーノ・アントニオ・ロッシーニ(Gioachino Antonio Rossini;1792~1868)

ロッシーニは、イタリアの作曲家で美食家としても知られています。「セビリアの理髪師」や「ウィリアム・テル」などのオペラ作曲家として良く知られ、イタリアオペラの作曲家の中で最も人気があります。原作は、フランスの劇作家カロン・ド・ボーマルシュの戯曲のフィガロ三部作、①「セビリアの理髪師」②「フィガロの結婚」③「罪ある母」で、理髪師フィガロは後にスザンヌと結婚しますが、更にドラマが展開していきます。この序曲は単独で演奏される事も多いですが、元来はオペラ「パルミーラのアウレリアーノ」の序曲として書かれたもので、更にこれに手を加え「イングランドの女王エリザベッタ」の序曲にしています。「セビリアの理髪師」もこれらの同じ曲を丸々再利用したとされています。

交響的前奏曲 (Preludio Sinfonico)

作曲：ウーゴ・ボッタッキアーリ(Ugo Bottacchiari;1879~1944)

ボッタッキアーリは、イタリアの指揮者で作曲家。ピエトロ・マスカーニの指導下にあるペザロのロッシーニ音楽院に入学し、厳格な教育を受けました。師マスカーニからは直々に和声とフーガを学び、学生時に、歌劇「影」を作曲し、マチェラータのラウロ・ロッシ劇場で上演し成功を収め、オペラ作曲家としてのスタートを切っています。卒業後はルッカの吹奏楽団の指揮者や、パチーニ音楽院で教鞭をとる等しつつ、管弦楽曲・歌劇・室内楽曲・声楽曲・マンドリン合奏曲など数多くの傑作を残しました。多くの作曲コンクールで入賞し、「ジェノヴァ市に捧げる四楽章の交響曲」は金碑を受賞しています。マンドリン曲では、瞑想曲「夢の魅惑」、ロマン的幻想曲「イル・ヴォート」、詩的セレナータ「夢！うつつ！」をはじめ、多くの合奏曲・独奏曲を残しています。本曲は、瞑想曲「夢の魅惑」と並びマンドリンオリジナル作品の最高位に位置し、至宝として古くから愛好されています。骨組みのしっかりした構造と重厚な和声に支えられた大曲であり、指揮者や、合奏団の人数、音色、奏法、テンポ、あらゆる要素によって、全く違う側面を見せてくれるという点で他に類を見ない作品です。

第三小組曲 (Terza Piccola Suite)

作曲：ジュリオ・デ・ミケーリ(Giulio De Micheli;1899~1940)

ミケーリは、イタリア生まれの作曲家、ヴァイオリニストで指揮者。パルマのポイト音楽院にてロメオ・ファンツォーニ氏に師事し、5年後最高の成績にて教授としてそのまま音楽院に残り、イターロ・アッツォーニ氏に師事し対位法とフーガを学びました。その後ブリュッセルのトムソ音楽学校に入学し、ヴァイオリンのヴィルトゥオーゾとして大賞を得ています。続いてチューリッヒ音楽院校長のアンドレア・フォルクマー氏に師事して作曲法を学んだ後、イタリアに帰国し作曲、音楽評論等にも活躍しています。作品の数は160曲を超え、オペレッタ・ミサ曲・交響詩などを作曲し、代表作として、組曲「田園にて」、組曲「エジプトの幻影」、組曲「舞踏組曲」等があります。本曲は、チューリッヒで学んだアンドレア・フォルクマー氏に捧げられたもので、原曲は大編成の管弦楽曲で頻繁に拍子が変わり、特に調子が馴染みのないもので、演奏上かなり難易度の高い曲です。

(参考資料として、ウィキペディア、マンドリン古典合奏曲集、オザキ譜庫より引用させていただきました。)

♪ 客演指揮者紹介 ♪

新井義輝氏は、明治大学商学部及び東京音楽大学指揮科卒業。音大在学中から各地の市民オペラやオーケストラなど幅広い分野での指揮、指導にあたる一方、新国立劇場、日本オペラ協会などの団体でオペラ指揮者としての経験を積む。ミュージカルの分野でも劇団四季などの上演に携わる。2003年からは国内外で活躍するプロ音楽家で結成したプロ音楽集団「チェンバーミュージックハウス」を主宰。その他オペラ演出やマンドリン音楽の作曲・編曲も手掛けるなど、積極的に活動の幅を拓けている。指揮を三石精一、久保田孝の各氏に師事。

♪ 活動レポート ♪

- 2012年 10月27日(土) 第28回定期演奏会 (グリーンホール相模大野大ホール)
2013年 1月5日(土) 新年会 (まんまみーや)
2013年 3月3日(日) 大野中公民館まつり参加 (大野中公民館)
5月25日(土) 2013年度定期総会(総合学習センター)
6月23日(日) 第31回神奈川マンドリンフェスティバル参加 (栄公会堂)
7月9日(火) 大野中ふれあい学級参加 (大野中公民館)
9月28日(土) 10月20日(日) 終日練習 (相模女子大学グリーンホール リハーサル室)
10月26日(土) 第29回定期演奏会 (相模女子大学グリーンホール 大ホール)

♪ 練習風景 ♪



約60名の部員がおり、年齢層も広く、多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月3回の練習は、平均80%以上の高い参加率で、マンドリン音楽を楽しんでいます。夫婦参加の部員もおります。皆さんも仲間に入り演奏してみませんか。お待ちしております。写真は定演前の練習風景です。

♪ メンバーの紹介 ♪

Conductor 宮本 皓永 新井 義輝

◎トップ ○サブトップ ☆賛助出演

1st Mandolin	◎窪田成子 梅澤典子 仁尾真里	○山崎了三 大矢利夫 舟田徳穂	藍澤桃子 川崎絃子 木田絹子	綾部文子 桑田久美子 吉野昌重	石本友子 長沼美智子
2nd Mandolin	◎中重亜由美 京増万由美 樋口三朗	○金澤葉子 後藤ケイ子 福谷隆治	饗庭裕子 田嶋稔一 渡辺礼子	大沼和江 戸田節子	岡林誠士 長澤直子
Mandola	◎寺田美千代 小竹義範 宮下和子	○野沢孝広 末永浩二 吉岡直美	池田百合子 笛木和美	大熊友子 峯田福代	小竹由美 三村乃之
Mandolon-cello	◎井上昌子 藤田尚美	○市川久美子 古田栄治	飯田正男 宮本皓永	小澤健二郎	錦戸民子
Guitar	◎中西茂樹 中嶋捷生 和田真紀子	○吉田真紀子 新田美佐子	池上由子 原田治	加登文子 宮本紀子	田中厚子 柳生秀人
Contrabass	◎錦戸雅子	○鈴木保彦	加藤規康	☆佐藤文俊	
Timpani	☆今井文香				
Percussion	☆角銅真実	☆西村安世			

司会 ☆矢崎ひとみ
ステージ・マネージャー 田嶋稔一 ☆坂井和彦

部長 小澤健二郎
マネージャー 飯田正男 鈴木保彦 桑田久美子 三村乃之
技術委員長 山崎了三
技術副委員長 井上昌子

♪ 第30回(2014年)定期演奏会の予定 ♪

日時 2014年10月25日(土)14時開演

場所 相模女子大学グリーンホール 大ホール

詳細はウェブサイト (<http://sagamiharamc.sakura.ne.jp/>) に掲載致します。

相模原マンドリン倶楽部

問い合わせ先 小澤健二郎